

南町小ことば

練馬区立南町小学校 ことばの教室
TEL/FAX (3993) 4500 教室直通
教室だより NO.5 令和6年1月10日



1月・2月の予定



1月		2月	
10日(水)	授業開始	21日(水)	15:00~ 授業なし (生活指導全体会のため)
1月13日(土)	保護者講演会 14:00~16:00	29日(木)	AM授業なし(一部) (入級検討会のため)

ことばの教室 交流会!

11月29日(水)に38名が参加し、交流会を行いました。自己紹介の後に、3つのゲームを行いました。4チーム対抗のゲームでは、みんなで力を合わせたり、声を掛け合ったりする姿がみられました。今年初めての取り組みでしたが、学校、学年を越えて交流し、楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちの様子と感想の一部を紹介します。

整列ゲーム



自己紹介



ドッジボール



★参加した子どもたちの感想★

- ・違う学校の人と遊べてよかった。 ・自己紹介をマイクで言うのが楽しかった。
- ・楽しかったのは、ドッジボールです。自分のチームは負けたけど、楽しかったです。
- ・下の学年の子に優しくして、リーダーとしてチームをまとめられたと思います。

★保護者の方々の感想★

- ・普段、他のお友達や親御さんに会う機会がないので、交流会があって良かったです。こんなに大勢いるとは思いませんでした。
- ・子どもの良い面が見えて、本人も楽しかったと言いき、参加してよかったと思いました。
- ・学校や学年の違うお友達と楽しく遊ぶことができ、得たものがたくさんあったと思います。

言葉を育む



言葉の発達とは

- 言葉をつかさどる脳の発達を促すためには、体と心が十分に育つ必要があります。規則正しい生活リズムを作り、体の発達に合わせた十分な運動と人とのふれあいなどの心地よい経験をたくさんすることで、言葉の発達の土台を作ることができます。
- 言葉の発達には、聴く力、言葉を理解する力、模倣する力、安心できる人間関係が必要です。子どもの中に伝えたいという気持ちを育てることが大切です。「うれしい」など、思わず言葉が出るような関わり合いの中で、楽しみながら言葉が育まれていきます。子どもの気持ちに寄り添うような関わり方をしましょう。
- テレビやスマホなどから受ける言葉の刺激は一方的です。言葉を覚えることはできますが、人と実際にやり取りする力は、人との関わりの中で学びます。視聴する時間を少し減らして、生きた言葉のやり取りを大切にしましょう。

聞き上手になるための

「そ言葉」

- ・それはいいね!
- ・そうだよね!
- ・そう思う!
- ・そうか!
- ・そう、そう!
- ・それ、それ



参考文献：発達障害・グレーンゾーンの子が
グーンと伸びた声かけ・接し方大全

語彙の力

- 語彙力とは、「言葉を理解すること（どれだけ多く言葉を知っているか）」に加えて「言葉を伝えること（状況に応じて、知っている言葉を適切に選び、使えるかどうか）」の2つの力のことを言います。生活の中で様々な物事に出会ったり、経験をしたりして、言葉を知り使い方を学ぶことによって、伝えることができるようになります。
- 特に、気持ちや感情を表す語彙の力を身に付けることが大切です。気持ちにぴたり当てはまる言葉が見つければ、「この気持ちはこう表現するのか」と知ることができ、言葉で気持ちを細かく分類できるようになります。自分の気持ちや体験したことを言葉にして相手に正しく伝えることができると、コミュニケーションがスムーズになります。感情を表す語彙の力は学力にも影響するという研究結果もあります。

《言葉を育てる関わり方の工夫》

～話す楽しさを体験させましょう～

- 何でも話せる雰囲気をつくる。
- いろいろな経験をさせ、気持ちを共感する。
- 近くで、目を合わせて話す。
- 子どもの声に耳を傾けて聞く。
- 話しかけてきたらそのときに話を聞く。
- 相槌を打ちながら聞く。
- 大人の方からも話しかける。
- 子どもの気持ちや行動を代わりに言葉で表現する。
- 大切な言葉を繰り返してあげる。
- 会話を先回りしない。
- 言葉を考えているときは待つ。
- 読み聞かせや読書を通して、想像力や豊かな感情を育てる。